



国際医療福祉大学病院
～連携通信～

第13号

かけはし

平成29年度国際医療福祉大学病院地域医療連携懇談会開催

平成29年7月12日、カシマウエディングにおいて地域医療連携懇談会を開催しました。



大友 邦 学長



小沼 一郎 那須郡市
医師会長

開催内容

司会 副院長 柴 信行

1. 主催者挨拶 国際医療福祉大学 学長 大友 邦
2. 来賓挨拶 那須郡市医師会 会長 小沼 一郎 先生

3. 学術講演会

座長 副院長 大竹 孝明
「妊孕性温存を考慮した婦人科癌治療」
病院長 大和田 倫孝



柴 信行 副院長



大竹 孝明 副院長



学術講演会風景



大和田 倫孝 病院長

7月12日、カシマウエディングにて「国際医療福祉大学病院地域医療連携懇談会」を開催しました。那須郡市医師会、塩谷郡市医師会、南那須郡市医師会等の先生方にお越しいただき、柴信行副院長の司会のもと、当院の医師も加えて総勢約110名に上る会となりました。

大友邦学長の挨拶に続き、那須郡市医師会長の小沼一郎先生からご挨拶を頂戴しました。学術講演は、大竹孝明副院長が座長を務め、大和田倫孝病院長が「妊孕性温存を考慮した婦人科癌治療」、という演題で講演を行いました。今回、講演と懇親会会場を別々にし、できる限り開業医の先生がたとの懇親の時間を多くしたことで、有意義なお時間を過ごすことができました。懇談会終了後、参加した開業医の先生方からは、「設備・医師の充実を改めて認識した。安心して患者を紹介できる。」と大変うれしいお言葉をいただきました。今後も地域の医療機関と連携を密にして、引き続き栃木県北地域の医療連携の充実を図ってまいります。

地域医療連携室 月曜日～土曜日 9:00～17:30
医療相談室 月曜日～土曜日 9:00～17:30
電話：0287-37-2221 (代表)

休診日・夜間等の救急紹介の場合は、0287-37-2221 (代表) から 担当医師に取り次ぎます。

地域医療連携室ホームページ URL : <http://hospital.iuhw.ac.jp/cooperation/index.html>

4. 懇親会

司会 副院長 柴 信行
挨拶 地域医療福祉ネットワーク 会長 鈴木 明裕 先生
乾杯 地域医療福祉ネットワーク 副会長 三森 薫 先生
医師紹介 4月着任医師紹介
中締め 副院長 鈴木 裕



鈴木 明裕 会長



三森 薫 副会長



塩谷病院
須田 康文 病院長



鈴木 裕 副院長

懇親会は、当院の着任医師の紹介を行い、和やかに懇親会を開催することができました。多くの先生方にご参加いただき誠に有難うございました。

国際医療福祉大学病院地域医療福祉ネットワーク 第二回総会開催

栃木県北地域の医療・介護・福祉の向上を目指して平成28年1月に設立された国際医療福祉大学病院地域医療福祉ネットワーク第二回総会を平成29年7月12日にカシマウエディングにて開催しました。

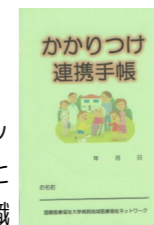
1. 開会の辞 (司会：副院長 柴 信行)
2. 地域医療福祉ネットワーク会長挨拶 (鈴木 明裕 先生)
3. 議長選出
4. 議事
 - (1) 議事録確認
 - (2) 役員変更について
 - (3) 事業報告
 - ① 突然死撲滅キャンペーン
 - ② かかりつけ連携手帳について
 - (4) 事業計画案
 - ① 突然死撲滅キャンペーンについて
 - (5) 連携医からのご意見・ご提案
 - (6) その他
5. 地域医療福祉ネットワーク副会帳挨拶
6. 閉会の辞



地域医療福祉ネットワーク総会
鈴木 明裕 会長挨拶



鈴木会長のご挨拶では、本ネットワークの特徴である、病院とクリニックの双方向連携、多職種連携の形成、良質な地域完結型医療、住民参加型ネットワークの早期実現への協力についてお話がありました。



地域医療福祉ネットワーク総会

議事については、まず病院長交代に伴い桃井眞里子より大和田倫孝の役員交代の承認が行われました。また、本年度の事業報告として、「かかりつけ連携手帳」と、平成29年2月に実施した「突然死撲滅キャンペーン」の報告。また、今年度の事業計画案として、平成30年2月に「突然死撲滅キャンペーン」実施にして承認されました。平成29年4月1日現在、地域医療福祉ネットワークの登録会員は50名となっております。引き続きご登録のほどよろしくお願い申し上げます。

腎臓内科診療のお知らせ



腎臓内科部長
わしだ なおき
鷺田 直輝 医師

蛋白尿、血尿、浮腫を主症状とする慢性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群、糖尿病・膠原病に伴う2次性腎炎、慢性腎臓病などすべての腎疾患を診療対象にしております。腎生検（写真1）を含む最新の検査ならびにエビデンスにもとづく最適の治療を提供いたします。

特に急速進行性糸球体腎炎（ANCA関連腎炎、抗糸球体基底膜抗体型腎炎など）に対しても腎生検などによる正確な診断と血漿交換ならびにステロイドパルス、免疫抑制療法を適切に実施いたします。透析センター（写真2）ではアフェレシスを含む各種血液浄化療法を駆使した集中治療が可能です。さらに、末期腎不全に対しては内シャント作成から透析導入、維持管理まで一貫して行います。患者様の生活を第一に考え、腹膜透析も実施可能です。看護師・臨床工学技師・栄養士とともにチーム医療を実践することで患者様御家族様に対する教育も同時に最大限提供いたします。以上のような入院診療体制に加え、外来診療体制（表参照）も万全な体制を整備いたしましたので、蛋白尿や腎機能の軽微な異常でもご紹介いただければ幸いです。



腎生検（写真1）



透析センター（写真2）

腎臓内科部長 鷺田 直輝 医師 プロフィール

国際医療福祉大学医学部主任教授
広島大学卒、医学博士
前慶應義塾大学医学部特任准教授
日本内科学会認定医、総合内科専門医
日本腎臓学会専門医・指導医
日本透析医学会専門医・指導医

腎生検について

糸球体や尿管の状態、急性腎炎、慢性腎炎、腎硬化症の鑑別ができます。また、組織中の自己免疫蛋白を見つけることによって自己免疫性腎炎の診断が下せます。

<腎生検の適用と禁忌>

腎生検を行った方が良い場合（適用）

- ・ 1日1.0g以上の尿蛋白がみられる場合
- ・ 原因不明の腎機能障害があるが、画像検査で腎臓が小さく縮んでいない場合
- ・ 血尿が持続し、進行する慢性腎炎が疑われる場合
- ・ 急速に腎機能が低下している場合

腎生検を行っていけない場合（禁忌）

- ・ 慢性的な腎障害のため、画像検査ですでに両側の腎臓が小さく縮んでいる場合
- ・ 出血傾向や、コントロール不十分な高血圧のため血が止まりにくい場合
- ・ 多発性のう胞腎の場合
- ・ 腎生検の実施中および検査後の安静が守られない方や指示に従えない場合

異常な場合に疑われる疾患

- ・ 急性・慢性腎炎、腎硬化症、ネフローゼ症候群、自己免疫性腎炎、増殖性腎炎、腎不全など

腎臓疾患の確定診断がなされますから、治療方針に従って治療を進めることになります。



透析センタースタッフ一同

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	予約のみ 11:00～ 湯村 和子	予約のみ 井岡 崇	10:00～ 13:00 葛西 貴広	—	鷺田 直輝	—
午後	鷺田 直輝 予約のみ 湯村 和子	11:00～ 15:30 葛西 貴広	13:30～ 15:00 葛西 貴広	鷺田 直輝	—	—

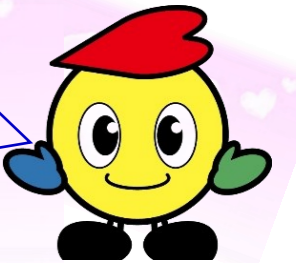
社会福祉法人

那須塩原市社会福祉協議会

「かけはし」では、地域の先生方にインタビューをさせていただき地域医療に関わるお話やお知らせをお届けいたします。

今回は那須塩原市社会福祉協議会にお願いしました。

あなたと
つくりたい
まちがある！！



社協キャラクター こころまる

社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会(社協)とは、地域住民をはじめ、ボランティア・社会福祉関係者や行政機関等の協力を得て、みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現を目指す民間組織です。

どんなことをしているの？

このまちにはたくさんの方が暮らしています。その中には一人暮らしで話し相手がない方、病気や障がいがある方、介護が必要な方、お金が無く食べていくことも困難な方、引っ越してきたばかりで不安な方、誰にも相談できない悩みを抱えて何らかの支援を必要としている方がいます。

社協はそうした地域の中にある福祉課題や法の制度では補うことのできない多様な福祉ニーズに対し、住民が主体となって問題を解決し、支え合える地域づくりを推進しています。

～地域住民助け合い事業～

社協が取り組んでいる事業は多岐に渡りますが、その中でも今回は、地域住民が主体となり『お互いさま』の支え合い活動を推進している地域住民助け合い事業を紹介します。この事業は地域に住む心配な高齢者や障がい者の方などに住民同士が声かけや訪問、ちょっとしたお手伝い(生活支援)などを行う取り組みです。

平成27年度から5年かけて那須塩原市内の全15公立公民館区ごとに活動を拡大しているところです。活動の推進のためには、地域との細やかな連携が必要であり、活動について地域から相談を受けたり、関係団体との調整等を行う【地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)】を各公民館に配置しています。今後も地域の方々の声を吸い上げ、誰もが安心して暮らせる地域づくりをサポートしていきます。ご用があってもなくても推進員にお気軽にお声がけください！



黒磯地区の推進員



西那須野地区の推進員



塩原地区の推進員

ここだけでは取り組みを伝えきれないので、詳しくはホームページへ！！ <http://ns-shakyou.jp/>

【お問合せ先】

社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会

本 所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5-163 TEL 0287-37-5122 FAX 0287-36-8710
 黒磯支所 〒325-0042 那須塩原市桜町1-5 TEL 0287-63-3868 FAX 0287-63-3518
 塩原支所 〒329-2924 那須塩原市中塩原1-2 TEL 0287-32-5216 FAX 0287-32-5220

2017/12/1
国際医療福祉大学病院
発行：地域医療連携室